

令和元年度

事務事業評価表 A (平成30年度の実績評価)

記入年月日 令和元年 5月22日

Table with columns for 事務事業名 (Child Club Operation), 事業区分 (New/Continued/Supplement), 担当 (Responsible), 政策体系 (Policy System), 予算科目 (Budget Item), and 法令根拠 (Legal Basis).

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

Table with 2 columns: ①事務事業の概要 (Overview of the business) and ②担当者が行う業務の内容・やり方・手順 (Tasks, methods, and procedures).

Table with 5 columns: ①手段 (Methods), ④活動指標 (Activity Indicators), ②対象 (Targets), ⑤対象指標 (Target Indicators), and ③意図 (Intentions), ⑥成果指標 (Outcome Indicators).

Table showing 投入量 (投入量) with columns for 29年度 (実績), 30年度 (実績), 01年度 (計画), and 期間限定総投入量 (期間限定総投入量).

Table showing 事業費の内訳 (事業費の内訳) with columns for 30年度事業費実績 (千円) and 01年度事業費予算 (千円).

Table for ④当該年度の実施内容 (Implementation content of the current fiscal year) with columns for 01年度, 02年度, and 03年度の事業内容.

事務事業名	学童クラブ運営事業	事務事業No.	10101000446	所属課	児童福祉課
-------	-----------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 民生委員児童委員から要望があり、平成15年より開始。現在は、市内すべての小学校区に学童クラブを設置し運営している。平成27年度より、対象年齢が小学生全学年になり、子育てクラブから学童クラブへと名称変更をした。
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか? 利用者から、開所時間を延長してほしい等の意見がある。
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容
現状維持

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	保護者は子どもを預け、放課後を安全に過ごすことができる場所があることで、安心して仕事に従事できるため、子育て支援に結びつく。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	安心して子供を育てられる環境を市として整備していく必要がある。仕事と子育ての両立を支援するため、放課後の児童の安全を確保することは、市の施策として妥当である。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	指導員の不足により、満身に配置できていない。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有	子育て世帯の就労に影響する。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) <input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる	生涯学習課との連携
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	指導員は一般非常勤職員であり、近隣自治体では専門業者への業務委託や、常勤職員の配置も進んでいるため、事業費は増加傾向。職員は入退所受付、補助金申請、10ヶ所のクラブ管理のための移動時間などもあり、業務時間は短縮することができない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	市内全小学校区に学童クラブを開設しており、公正・公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 平成29年度においては、平成30年度からの真壁小学校と紫尾小学校の統廃合による、桃山学園開設に伴い、桃山学童クラブを整備した。桃山学園内に開設できたことにより、入所者の利便性が保たれ、児童の通所への危険もなくなった。													
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒													
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)													
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止	(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる													
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策	<table border="1"> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </table>	成果	向上			○	維持			×	低下			×
成果	向上				○									
	維持				×									
	低下			×										
(6) 事務事業優先度評価結果														
成果優先度評価結果	②													
コスト削減優先度評価結果	-													

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>